

走水小学校 跡地活用に関する地域説明会 議事録

■日 時：令和8年4月26日（日）14：00～15：45

■場 所：旧走水小学校 体育館

■出席者：地域住民など 37名

FM推進課（事務局）課長 山中 理

主査 土田 正和

主任 岩崎 勝美

主任 狩野 澄人

主任 田村 健一

■内 容：＜議題＞

- （1）跡地活用検討協議会の検討結果報告書に関する説明
- （2）跡地活用のスケジュール（現時点のイメージ）に関する説明
- （3）跡地活用等に関する意見、質疑応答

概 要

1 開会

2 事務局挨拶

（FM推進課長）

日頃より、横須賀市の行政にご理解、ご協力をいただきましてありがとうございます。また、本日はお忙しい中、走水小学校跡地の利活用に関する説明会にお越しいただきましてありがとうございます。

本日の説明会ですが、大きく2つの話をさせていただこうと考えています。1つは、これまで1年間にわたり、地域で活動いただいている団体の皆様にご協力いただきながら開催してきました「跡地活用検討協議会」の検討結果報告書について、説明させていただきたいと思っています。こちらは昨年の5月にこの体育館で地域の皆様を対象にした説明会を行わせていただき、そこでいただいたご意見なども踏まえて、跡地がどういった場になってほしいのかということをお考えいただいた結果としてまとめていただいた報告書です。横須賀市として報告書を受け取りましたので、今後、その内容をできるだけ実現できるように、検討を進めていきたいと考えています。

もう1つお話をしたいことが、今後の跡地活用の検討の進め方について、横須賀市としてどう進めていくのかということです。今後この報告書の内容を実現できるようにするためには、例えば、事業費がいくらぐらいになるのか、あるいは土地や建物に法令上の制限をどうクリアしていくか、実際の運営にあたってはどのような方法があるのかなど、実現性を高めていくために考えなければならないことがいくつかあります。そういったことを検討する手順として、横須賀市としてどう考えているかというところをお話しさせていただきたいと思っています。

限られた時間ではありますが、今後の走水小学校の跡地活用につながる話を、できるだけ皆様に分かりやすく説明し、皆様のご意見をお聞きしたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

3 自己紹介

参加職員が順次、自己紹介

4 議 題

(1) 跡地活用検討協議会の検討結果報告書に関する説明

(事務局)

資料に沿って説明

(2) 跡地活用のスケジュール（現時点のイメージ）に関する説明

(事務局)

資料に沿って説明

(3) 跡地活用にかかる意見、質疑応答

(質疑・意見等1)

- ・ 報告書4ページのコンセプト「海と学び、人が交わる。走水・みらいキャンパス」について、句点が入っているのは理由があるのか。またトライアル期間の具体的な時期と内容を教えてほしい。

⇒ (FM推進課)

コンセプトの句点について特段こだわりはない。トライアルについては現時点では6月下旬から年末までの期間を予定しており、本格活用案に反映させたいと考えている。

(質疑・意見等2)

- ・ 報告書5ページの「防災」に避難所機能の維持が記載されているが、協議会で地域の自然災害を踏まえた議論はどの程度なされたのか。走水は関東大震災でも大きな被害を受けており、湧き水も豊富で地盤も複雑。こうした過去の災害を認識し、将来の安全をどう確保するかという視点が重要。

⇒ (FM推進課)

協議会には危機管理課も同席しており、避難所機能についても議論してきた。防災拠点として代替りの施設がないため、引き続き、学校跡地を震災時避難所として維持することが総意となっている。過去の災害に関する情報は危機管理課と共有する。

(質疑・意見等3)

- ・ 建物は築50年ということだが、今回の検討は既存建物の改修・再利用が前提なのか、または解体・新築の可能性はあるのか。

⇒ (FM推進課)

再利用を想定している。適切に改修すればあと20年程度は使用可能と認識しており、施設改修による活用を検討している。

(質疑・意見等4)

- ・報告書の活用案は最終決定か。個人的な意見だが、福岡市の「まみずピア」が話題になったので、このような「海水淡水化施設」を作り、そこで得た水をIT企業のデータセンターの冷却用に供給すれば企業誘致にもつながる。まみずピアの敷地面積は約46,000㎡で旧走水小学校が約10,000㎡。人口は福岡市が160万人で横須賀市が37万人なので、4分の1の敷地面積でも対応できると思う。まみずピアの年間の生産水量が2億立方メートルなので、4分の1の規模でも横須賀市の年間使用水量である4,600万立方メートルを賄える。こういったものを新しく建設して企業を呼び込まないと、横須賀市は廃れてしまう。

⇒ (FM推進課)

報告書は協議会の検討結果であり、最終的な活用案として決定したものではない。報告書を尊重しながら市として活用案を検討する。提案については参考にさせていただく。

(質疑・意見等5)

- ・報告書5ページの「企業誘致」と「店舗」の違いは何か。また、「こどもの居場所」とあるが、そもそも閉校に至った理由として「こどもがいない、集まらない」ことが原因であったとすれば、この場所がこどもの集まる拠点となる期待や可能性はあるのか。

⇒ (FM推進課)

「店舗」は地産品の販売を想定しており、「企業誘致」はより広い視点で民間企業の力を借りる提案を想定している。子育て機能については、協議会委員からの意見で盛り込まれており、実現性について今後の検討課題である。

(質疑・意見等6)

- ・海洋教育など、こどもが集まる場所として活用が広がれば良いと思っている。また本日、現地に来てアクセスが大変だと感じたので、跡地活用ではアクセスの悪さを逆手に取り、歩くプログラムや運動が取り入れられたら良いと思った。

⇒ (FM推進課)

アクセスの課題を含め、活用案を検討したい。

(質疑・意見等7)

- ・これまで地域でやってきたものは継続すればよいが、「商業・賑わい」にあるレンタルスペースやワーケーションなどは設備を設けて、お試し利用で使えるようにしなければ、スケジュール後半の議会への報告もままならないと思う。お題目で終わらないよう、現時点での見通しを教えてほしい。

⇒ (FM推進課)

お試し利用では大掛かりな改修を行うことは難しく、既存の設備で可能な範囲での利用となる。また、ワーケーションなどの商業的な機能は民間事業者が整備する部分と考えており、お試し利用でそこまでの商業的な利活用は難しい。一方で、サウンディング等で民間事業者と意見交換を行っていくので、そのなかで事業者に打診していきたい。

(質疑・意見等8)

- ・天神島では磯の観察会などを行っている。あのような取り組みを旧走水学校でも行い、市内の小中学生などに向けて市が広報などでPRしなければ、発展しない。磯もあり、海水浴もやろうと思えばできる場所。少しでも多くの人が学区外から集まるようにすれば、跡地が有効に使われていると認識してもらえらる。

(質疑・意見等9)

- ・7点質問がある。①土地建物は市有か、②メンテナンス費用は年間いくらか、③(報告書10ページ)施設運営を「法人格を有する団体」とする意図は、④近隣の旧上の台中学校の現状は、⑤走水小学校の標高は、⑥FM推進課とは何の略か、⑦これまでの会議録の公開場所は。

⇒(FM推進課)

- ①土地建物は横須賀市の所有。
- ②維持管理費は光熱費を中心に年間約600万円。
- ③「法人格を有する団体」が運営するとした意図は、施設運営を安定して行うには法人が適切であろうとの理由から。
- ④旧上の台中学校は平成23年3月に閉校、過去2回売却公募は不調に終わった。現在は体育館の開放も終了し、土地全体の利活用を検討中。
- ⑤走水小学校跡地は海拔5m。
- ⑥FMは「ファシリティ・マネジメント」の略で、施設を経営的な視点で最適に管理・活用することを意味する。
- ⑦会議録は市のホームページで公開している。

(質疑・意見等10)

- ・教育や地域コミュニティ、商業施設として跡地活用されることは賛成。ただし、近隣住民として、災害時にレッドゾーンが含まれる場所に子どもを連れて逃げてきてよいものか、とても心配に感じる。

⇒(FM推進課)

走水小学校跡地は「震災時避難所」だが、地震や大規模災害時の一時的な避難先である「広域避難所」は防衛大学校が指定されている。まず防衛大学校を目指して避難いただき、跡地はその後の生活の場としての防災拠点という位置づけになる。

(質疑・意見等11)

- ・「海からの交通」という視点での活用(チャーター船など)や、近隣の横須賀美術館の収蔵庫としての活用は検討したのか。

⇒(FM推進課)

海上交通については協議会の検討にはなく、市でも思いつかなかった。新しいアイデアとして承る。美術館の収蔵庫としての活用について、美術館から要望は受けていない。

(質疑・意見等12)

- ・ロケーションサービスはトライアル後も事業として継続していく予定なのか。

⇒（F M推進課）

現在は観光協会と民間事業者が連携して暫定的に実施しており、本格活用に当たり現状のまま継続するものではないが、検討したい。

（質疑・意見等13）

- ・先ほど、海水を淡水にしたらどうかとの提案があったが、今後もこうしたアイデアが出てくるかもしれない。そうした際に、市として検討してもらえるものなのか。

⇒（F M推進課）

資料のスケジュールにも記載しているとおり、地域との意見交換や情報共有は継続していくので、提案もいただければと考えている。町内会に跡地活用にかかる準備室を設けていただいたと聞いているので、基本的にはそこを窓口とさせていただく想定でいるが、ご意見については、形を問わずお寄せいただきたい。

（質疑・意見等14）

- ・今後、本格活用の検討を行っていく中で、報告書にある海洋教育などの活用案が利益重視の案に大幅に変わる可能性はあるか。

⇒（F M推進課）

協議会の報告書を最大限尊重するのが市の立場。協議会の検討結果である「教育」という軸を実現できるよう努力する。

（質疑・意見等15）

- ・旗山崎公園に駐車場を作ると、何台くらい駐車できる計算か。

⇒（F M推進課）

広場部分は約1,000㎡あるが、そのうち500㎡程度を駐車区画として使用した場合、一般車両40台程度、バス1～2台が駐車できる広さになる。なお、坂道を下った先の急カーブに公園の出入り口が位置しているため、警察からは安全面で懸念が示されている。しっかりと計画を立てて協議していきたい。

（質疑・意見等16）

- ・資料5ページの「親子の遊び場」は、「愛らんど」のように職員が常駐するものと、コミュニティセンターの遊び場といった一般開放されるものの、どちらのイメージか。また、お試し利用は「地域団体」に限定するとのことだが、市内で不登校児の居場所づくりなど、子育て支援業に熱意をもって取り組んでいるかたを知っているので、対象を市内の子育て支援団体などに広げられないか。

⇒（F M推進課）

親子の遊び場について現時点で具体的なものはないが、「愛らんど」のように幼児と保護者の方が利用するというよりは、もう少し幅広い年代の子供たちが遊べるイメージで捉えている。また、お試し利用については、まずは地域に根差した活動を優先したい。

(質疑・意見等17)

- ・走水の水資源を活用すべき。水耕栽培など、自然環境を生かした雇用創出や活性化を、市はどれほど真剣に考えているのか。業者に委託するだけで終わらせないでほしい。

⇒ (FM推進課)

走水の立地環境が素晴らしいものであることは市も認識しており、その視点を忘れずに活用案を検討する。

(質疑・意見等18)

- ・お試し利用で高齢者や子どもの居場所を作る際、けがをしないようにマットを敷くなどの配慮や予算はあるのか。

⇒ (FM推進課)

お試し利用に当たっての新たな改修予算はない。既存設備の不具合(照明やトイレの故障など)には対応するが、活動に必要な備品は利用者で準備していただく。お試し利用に当たり、利用上気づいた課題を聞き取る予定で、本格活用の際に設計等に活かしたい。

(質疑・意見等19)

- ・週末にグラウンドを使えないか、毎週使用している少年野球チームに打診したところ、「年間を通して野球チームが押さえているので難しい」との回答だった。これがトライアルの場合、使えるようになるものなのか。

⇒ (FM推進課)

お試し利用については、従前からのスポーツ団体の利用に支障がない形で行っていきたいと考えているため、体育館とグラウンドに関してはスポーツ団体が利用していない時間帯での利用が原則になる。

(質疑・意見等20)

- ・不登校の子どもたちが、保健室でも教室でもなく、リラックスして過ごせる居場所を作ってほしい。また校舎の屋上は天体観測に適した環境なので、活用を検討すべき。

(質疑・意見等21)

- ・維持管理に年間600万円程度要しているとの説明だが、建物は定期的に大きな修繕(屋上防水や外壁)が必要になる。前回の修繕時期から次に修繕が必要な時期は分かるはずだが、校舎の大規模な修繕(外壁や防水)は直近でいつ行われたのか。

⇒ (FM推進課)

耐震補強工事は平成19~20年に実施、外壁等の実施時期は承知していないので確認する。

(後日確認)

外壁塗装は平成12年に実施。屋上防水は昭和50年に実施。

(質疑・意見等22)

- ・週末は少年野球チームの関係車両で駐車場所の確保が困難な状況である。駐車場が確保できなければ、イベントをしても人が呼べないため、トライアル期間中は駐車場の融通を利かせられるように調整をお願いしたい。

(質疑・意見等23)

- ・駐車場の確保はもっとも大事なこと。100万人以上が観音崎方面を訪れる中で、走水を通り点にさせない仕組みが必要。財務省の未利用地を借りるなど知恵を出してほしい。教育を柱に、防災・コミュニティ・観光が支えるこの案には賛成。

(質疑・意見等24)

- ・小学校がなくなったことで子育て世代が転入を諦めたケースがあり、バス通学になったことで、子どもたちの体力が低下することも懸念している。子どもたちが未来に希望を持てる町にしたいし、本当に子どもたちのことを考えてもらいたい。また、私は大津のこども食堂で200食を作っている。旧走水小学校にも調理室があるので、ここでも「子ども食堂」を実施したい。

4 閉会の案内

(FM推進課)

予定の時刻を過ぎましたので、本日の地域説明会を閉会させていただきます。

本日の説明会の質疑応答につきましては、市ホームページで公表をさせていただきます。

また、今後の経過や活用案につきましては、随時市ホームページへ公開及び後日皆様への説明会を開催予定ですので、よろしく願いいたします。

5 閉会の挨拶

(FM推進課長)

本日は長時間にわたり、説明会に参加いただき、ありがとうございました。

今日は、様々なご意見をいただきました。

今日のご意見も踏まえ、今後、市で活用案の具体化を進めていく予定ですが、今後も節目で地域の皆さんに検討状況をお知らせしながら進めていく予定です。

そうした検討の経過は、市のホームページなどへの記載も行なってまいりますので、注目していただけると幸いです。

それでは、これで本日の説明会を終了します。ありがとうございました。

以上